

平成25年度事業報告

近年は地球規模で自然災害が多発し、災害に強い森林づくりが世界的な課題となっている。県民の森林への関心は高まっており、緑環境の整備と共に、緑化運動の拡大と発展が大きな課題である。

このような状況の中、本協会では、県の緑化推進事業と連携をとり、緑化推進に対する県民の理解を得ながら、県民参加による緑地造成や身近な緑を育てる花いっぱい推進運動、緑を守り育てる青少年や森林ボランティア団体の育成など、「緑豊かな郷土づくり」を目的にした緑化思想の啓発・普及運動を展開した。

【公1】緑の募金事業

1 緑の募金運動推進事業

県民の緑化意識の高揚を図るため、春期（4月1日～5月31日）及び秋期（9月1日～10月31日）を緑の募金強調期間と定め、春期には街頭募金を行うなどその期間を中心に県、市町村、企業、関係団体等の協力を得ながら募金運動を展開した。また、年間を通じて各市町村の自治会に対して家庭募金を依頼した。なお、学校等における緑の募金運動の活性化及び次代を担う若者の緑の大切さへの意識の醸成を図るため、小中学校及びボーイスカウト、ガールスカウトからの緑の募金による寄付金については、緑化への用途を確認のうえ、寄付金の30%を限度として還付することとし、要望のあった団体へ還付した。

また、直接募金という形で寄付されるほか、商品売り上げの一部を募金として寄付されるものとして自動販売機で販売される飲料やスーパー等で販売される食品があるが、これら賛助商品からの協力を得た。

募金目標額：16,000,000円 募金実績額：14,683,949円（達成率91.8%）

団体別緑の募金実績表（単位：円）

緑化協力団体	実績
市町村	475,136
林材業	287,500
各種団体	255,714
学校募金	251,399
BS・GS	1,151,777
ロータリー等	321,180
企業	1,892,477
県出先	262,645
街頭募金	135,673
家庭募金	6,183,189
賛助商品	3,035,443
ボランティア団体	31,230
依頼外	400,586
計	14,683,949

年度別募金実績一覧表

年度	目標募金額 (円)	実績募金額 (円)	達成率
平成元年	13,000,000	12,867,367	99.0 %
2年	13,000,000	14,104,304	108.5 %
3年	14,500,000	15,922,882	109.8 %
4年	15,000,000	18,632,211	124.2 %
5年	15,500,000	14,993,518	96.7 %
6年	15,500,000	13,213,605	85.2 %
7年	15,500,000	11,725,273	75.6 %
8年	16,000,000	12,539,584	78.4 %
9年	16,000,000	12,397,922	77.5 %
10年	15,000,000	14,123,675	94.2 %
11年	16,000,000	15,034,660	94.0 %
12年	16,000,000	15,305,509	95.7 %
13年	16,000,000	15,660,654	97.9 %
14年	18,000,000	16,650,375	92.5 %
15年	18,000,000	16,950,858	94.2 %
16年	18,000,000	13,079,202	72.7 %
17年	16,000,000	12,669,274	79.1 %
18年	16,000,000	13,252,832	82.8 %
19年	16,000,000	13,184,157	82.4 %
20年	16,000,000	12,723,279	79.5 %
21年	16,000,000	12,876,963	80.5 %
22年	16,000,000	14,050,223	87.8 %
23年	16,000,000	13,764,069	86.0%
24年	16,000,000	14,059,648	87.9%
25年	16,000,000	14,683,949	91.8%

2 地球環境整備事業

(1) みんなの森・里山整備事業への助成

地域住民による緑豊かな生活環境づくりを進めるため、地域住民自らが実施する植樹事業に助成した。

(実施主体：自治会・老人会・青年団体等、事業地：集会場・広場等、対象経費：苗木・肥料・標柱等、交付金額：規模により20万円以内または30万円以内)
平成25年度は下記3団体に助成した。

平成25年度 みんなの森・里山整備事業実績

事業主体	実施場所	助成額 (円)	植栽面積 (㎡)	内容
御所市小林自治会	御所市大字櫛羅沿道	300,000	(250m)	ヤマザクラ 25本
曾爾村大字小長尾	曾爾村大字小長尾沿道	200,000	1,200	ヤマザクラ 15本、イロハモミジ 15本
下北山村池峰区	下北山村大字池峰民家脇斜面	100,000	737.7	ミツマタ 100本
合計		600,000	1,937.7 (250m)	155本

(2) 花いっぱい推進事業への助成

地域住民による緑豊かな生活環境づくりを進めるため、地域住民らによる地域の緑地や公園での花づくり活動に助成した。

(実施主体・事業地・対象経費は(1)に同じ、交付金額：5年間継続実施、初年度5万円以内、2～5年目2万円以内)

平成25年度は下記15団体に、花の苗や肥料代として助成した。

平成25年度 花いっぱい推進事業実績

事業主体	実施場所	助成額 (円)	植栽面積 (㎡)	継続年数	内容
橿原市東小槻自治会	東小槻町緑地	49,626	21	初年	ビオラ、ポーチュラカ 2種 222本
桜井市金屋老人クラブ喜楽会	金屋の石仏周辺	49,687	(50m)	初年	ナデシコ、アキランサス、ペントス、ピンカ、パンジー、 ビオラ、サクラソウ等 9種 372本
学校法人白藤学園	沿道花壇	50,000	84	初年	パンジー、ビオラ、アリッサム、ノースポール、ストック、 テルスター等 15種 899本
御所市柳原婦人団体連絡協議会	自治会館周辺	50,000	10	初年	ビオラ、メラコイデス、シクラメン、ハボタン、 ヒナギク、サンショクスマイレ 6種 149本
県立生駒高等学校	校舎南側法面	50,000	300	初年	シバザクラ 3000本
県立奈良東養護学校	薬師寺境内	39,960	(40m)	初年	ビオラ 200本
県立奈良西養護学校	奈良市立富雄第三幼稚園周辺	50,000	100	初年	チューリップ、ムスカリ、パンジー、ビオラ、イペリス 5種 485本

県立香芝高等学校	運動場隣接花壇、昇降口前	50,000	86	初年	ポーチュラカ、マリーゴールド、ジニアプロフージュ、パンジー 4種 570本
宇陀市天満台東四丁目自治会	榛原赤人公園	50,000	50	初年	アリッサム、ナデシコ、カンパニュラ、ルピナス、デージー等 20種 229本
橿原市五井町自治会	市道五井町・今井町線沿い	20,000	32	4年	ハボタン、パンジー、ペチュニア、ポーチュラカ、キンギョソウ 5種 750本
橿原市いわれ西園芸クラブ	中曽司町磐余団地児童公園	20,000	8.66	4年	パンジー、サクラソウ、テルスター、ストック、ジュリアン等 8種 168本
奈良市左京地区自治連合会	奈良市左京五丁目緑地	20,000	10	4年	チューリップ、ムスカリ、スイセン 3種 428本
奈良市朱雀六丁目街区公園グリーンサポート	奈良市朱雀六丁目街区公園	20,000	18	3年	シバザクラ 245本
宇陀市室生西谷自治会	宇陀市西谷花街道	20,000	(250m)	3年	マリーゴールド 700本
香芝市穴虫西自治会文化部	香芝市穴虫	20,000	60	3年	ペゴニア、パンジー、ペンタス、テルスター 4種 360本
合計		559,273	779.66 (340m)	8777本	

3 緑化啓発事業

(1) 緑化啓発イベントへの助成

森林の環境の大切さを啓発すると共に市民の自発的な緑化活動を推進するため、市町村や関係団体等が開催する各種緑化啓発イベント事業に対して助成した。

(実施団体：市町村・学校・自治会・老人会等、対象：地域住民に対して行う緑化啓発イベントまたは市町村の行事に緑化啓発に関連する事業を取り入れる場合、対象経費：緑化啓発を目的としたイベントにかかる経費、交付金額：50万円を限度として交付対象経費の1/2以内)

平成25年度は以下の8団体が主催するイベントを助成した。

平成25年度 緑化啓発イベント事業実績

助成団体	イベント名	実施時期	助成額 (円)	参加人数 (人)
生駒市	花・緑まちづくりフェスタ in ふろーらむ	11月10日	500,000	2,000
河合町緑化推進委員会	緑化作品コンクール等	7月～2月	150,000	2,800
橿原市	橿原夢の森フェスティバル	10月12日・13日	60,000	600
十津川村林業研究会	十津川村文化祭	11月3日	30,000	700
大和高田市	秋の緑化フェア	10月11日～10月22日	180,000	600

奈良県森林組合連合会	奈良県林材まつり 「木工工作体験」	7月15日	60,000	200
明日香村観光交流活性化事業実行委員会	第56回明日香村農林商工祭	11月24日	70,000	3,000
大和路花と緑のフェスティバル実行委員会	第6回大和路花と緑のフェスティバル	10月12日・ 13日	500,000	1,402
合計			1,550,000	11,302

(2) 緑化啓発運動の実施

○緑化啓発関連イベントへの参加

県民一人一人が、人と森林とのふれあいや体験を通して、森や自然の果たしている役割や恵みに対する認識を深めるため、県の設定する「奈良県山の日・川の日」にあわせて開催される緑のイベントに出展した。

また、県・市町村や関係団体が行う各種イベントに参加してパネル展示などにより緑化啓発を行うとともに、花を植栽した木製プランターカバー付きのプランターを設置してもらい「花いっぱい運動」に取り組んだ。

○全国植樹祭、全国育樹祭への参加

5月26日に鳥取県南部町「とっとり花回廊」で開催された「第64回全国植樹祭」、及び11月17日に埼玉県熊谷市「彩の国くまがやドーム」で開催された「第37回全国育樹祭」に参加した。

(3) 緑化広報宣伝活動

緑の大切さの提唱・募金を活用した事業の内容・緑化啓発コンクール入賞者の紹介・みどりの少年団の活動内容を掲載した広報誌「緑化だより」第32号及びリーフレットを作成し、募金を依頼する企業・団体等、みどりの少年団、市町村の自治会に配布するとともに、各種イベントにおいて配布した。また、協会のホームページやイベントでの国土緑化運動や育樹運動ポスターの掲示により緑化啓発に取り組んだ。

ホームページアドレス <http://www.nararyokuka.org/>

(4) 緑化コンクールの実施

○緑化作品（ポスター、標語）コンクール

次代を担う青少年に、森林・植樹についての理解と緑化意識の高揚を図るため、緑化に関するポスター・標語を募集した。

今回入賞した作品は、緑化啓発パネルでの展示及び「緑化だより第32号」、インターネットホームページ等の掲載を通じて県民への緑化啓発に活用した。（入賞者は9頁参照）

本県入賞作品のうち、ポスターについては、上位作品を（公社）国土緑化推進機構が主催する「平成26年用国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール」に、標語については、同主催の「平成26年用国土緑化運動・育樹運動標語」に推薦した。

緑化作品コンクール応募状況

部門		参加校	参加者	参加点数	応募点数	入選
① ポスター	小学校	42	476	476	162	8
	中学校	18	971	979	121	8
	高等学校	10	359	359	45	8
	小計	70	1806	1814	328	24
② 標語	小学校	8	69	69	29	10
	中学校	2	39	39	8	
	高等学校	2	85	195	10	
	小計	12	193	303	47	10
合計		82	1999	2117	375	34

○学校環境緑化コンクール

緑豊かな教育環境の造成と児童・生徒による緑化活動の活発化を図るため、県及び県教育委員会と共催で「学校環境緑化コンクール」を実施した。本年度の応募はなかった。

(5) 緑化講習会の開催

県民の緑化意識の高揚及び緑と花についての知識・技術の習得を図るため、一般県民を対象とした講習会「緑と花の一日塾」（定員：各70名）を3月4日と5日の2日間、中南部と北部の2会場で開催した。参加者を一般公募し、約70名が参加した。

4 みどりの少年団活動推進事業

(1) みどりの少年団育成

県内の小・中学校、地域の団体を対象に、緑化実践活動を通じて子供達の緑に対する知識と理解を深めることを目的として、昭和49年県下に「みどりの少年団」が結成され、25年度末で73団体が活動しており、実践活動に必要な資材の購入に対する助成を行い、その活性化に努めた。

(2) みどりの少年団交流集会の開催

みどりの少年団相互の交流や研修を深め、活動を一層充実発展させるため、平成25年7月に県内で交流集会を開催し、参加少年団の日頃の活動状況の発表、工作、自然観察等の活動を通じて団員相互の交流と連携を図るとともに、情報交換を行った。

日 程	平成25年7月24日
場 所	大和郡山市「少年自然の家」
参加団体	奈良16団スカウト、斑鳩西小学校、鼓阪小学校、朱雀小学校
内 容	各団活動発表、樹木観察、クラフト

【公2】緑化推進事業

公益社団法人国土緑化推進機構の「緑と水の森林ファンド」の運用益を原資とした助成金、民間助成金及び基本財産運用益等を活用し、県民に森林や緑の役割と働きに対する理解と認識を深めてもらうとともに、緑化活動の推進を図るために実施する緑化啓発普及活動や自主的に森林づくりに参加し行動する森林ボランティア活動などの取組を推進した。

(1) 森の文化活動

緑の重要性や協会の活動について理解と認識を深めてもらうため、みどりの月間（4月15日～5月14日）を中心に県内各地で啓発ポスターの掲示や緑化作品コンクール入賞作品の展示などを行った。また、緑化活動に取り組んでもらうよう緑化苗や花の種子の配布を行った。

会 場	開催期間	内 容
県庁「県民ホール」（奈良市）	4月8日～12日	緑化作品コンクール入賞作品等展示
県庁屋上ギャラリー（奈良市）	4月15日～25日	緑化作品コンクール入賞作品等展示
馬見丘陵公園（広陵町）	4月27日～ 5月6日	緑化作品コンクール入賞作品等展示 緑化苗等配布と緑化作品コンクール 表彰式（4月29日）
うだ・アニマルパーク（宇陀市）	4月27日～ 5月6日	緑化苗配布
「奈良県山の日・川の日イベント」（奈良市）	7月15日	緑化苗配布

この他、県内で行われた各種イベントに緑化啓発パネルの貸し出しを行った。

また、平成14年度より全国的に展開されている「もりのくに・にっぽん」運動の一環として平成25年度「森の名手・名人」を県内より推薦したところ、新たに3名の方が選定された。（10頁参照）

(2) ボランティア活動推進事業

地域住民の奉仕活動による森林整備事業の実施や緑化の啓発を図るとともに身近な緑地の造成を援助し、森林ボランティア団体の育成・強化に努めた。

また、奈良県森林ボランティア連絡協議会を通して、県内森林ボランティアに対して情報を提供し、指導者の育成に努めた。

(3) 学校環境緑化モデル事業

学校における緑環境を整備し、そこで学んでいる次代を担う児童・生徒に緑の大切さについての意識を高めてもらうために、公益社団法人国土緑化推進機構が推進する「学校環境緑化モデル事業」に本年度新たに奈良市立大安寺西小学校と大和高田市立陵西小学校の2校が採択され、校内の植樹やビオトープの整備等の事業を実施した。（平成26年6月完成式典実施予定）

【公3】矢田山遊びの森維持管理受託事業

森や自然に親しむ活動、森林ボランティア活動、子どもの森広場を中心とした行楽、

森林浴トレッキングなど四季折々の自然にふれあう場として県民に利用されている大和郡山市矢田町の「矢田山遊びの森」における子ども交流館、料理体験館、管理道・境界等の管理、清掃管理を実施した。

【収 1】 治山台帳作成受託事業

県が森林法、地すべり等防止法に基づき県土保全のため保安林で実施している治山事業（山地に起因する災害から国民の生命・財産を保全し、また、水源涵養、生活環境の保全・形成等を図るために森林の維持造成を行う事業）にかかる台帳作成業務を受託した。本年度は平成24年度施行の治山事業の台帳作成事業を実施した。

平成25年度緑化作品コンクール入賞者一覧(敬称略)

○ ポスター

小学校の部	白銀 典子	上牧町立上牧第三小学校	1年
	菅本 翔大	奈良市立三碓小学校	1年
	小橋 望歩	葛城市立忍海小学校	3年
	前田 稀央	奈良市立富雄第三小学校	3年
	濱口 士穂	橿原市立鴨公小学校	6年
	樋口 紗英	香芝市立真美ヶ丘東小学校	6年
	松田 幸和花	奈良市立伏見小学校	6年
	山田 夏実	香芝市立真美ヶ丘東小学校	6年
中学校の部	上中 美優	高取町立高取中学校	1年
	竹村 芳	奈良市立登美ヶ丘中学校	1年
	梶本 芽以	奈良市立富雄南中学校	1年
	吉田 圭吾	奈良市立飛鳥中学校	1年
	大川 智美	奈良市立富雄南中学校	2年
	中井 聖	桜井市立桜井西中学校	2年
	杉原 杏奈	智辯学園奈良カレッジ中学部	3年
高等学校の部	安田 智世	奈良市立飛鳥中学校	3年
	石井 来愛	奈良県立高田高等学校	1年
	中嶋 もえ	奈良県立西の京高等学校	1年
	高田 茉里奈	奈良県立高円高等学校	2年
	玉井 麗子	奈良県立高円高等学校	2年
	中田 美波	奈良県立高円高等学校	2年
	東野 香奈	橿原学院高等学校	3年
	古川 仁子	橿原学院高等学校	3年
	山塚 美波	橿原学院高等学校	3年

○ 標語

米倉 京香	斑鳩町立斑鳩東小学校	2年
戸田 恭輔	橿原市立真菅小学校	3年
里川 祐太朗	斑鳩町立斑鳩東小学校	3年
高野 弘行	橿原市立真菅小学校	4年
細谷 菜月	橿原市立晩成小学校	5年
西浦 舜	橿原市立耳成西小学校	6年
森塚 叶夢	橿原市立耳成西小学校	6年
中谷 拓海	山添村立山添中学校	1年
安田 智世	奈良市立飛鳥中学校	3年
前田 華菜絵	奈良県立磯城野高等学校	1年

平成25年度「森の名手・名人」選定者（奈良県推薦者・敬称略）

○ 加工部門（振子（ふりこ））

泉岡 邦彦（桜井市在住）

○ 森づくり部門（造林手）

吉田 光之輔（下市町在住）

○ 森の恵み部門（シイタケ栽培）

上田 克彦（天理市在住）